５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
草莽荘の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.568-569
かなりの急斜面ですが若者の森活動しています

【定例活動報告】草莽荘の森

草莽荘の森では、草莽荘の活動と会全体の活動を報告していきます。

９月第３日曜日は、このあと報告いたします、狛江市環境イベントであるこまエコ祭りに積み木を貸し出して、その運営を中学生が行ったため、森はベテラン勢だけの活動となりました。

この日は、小手澤の森の花畑の蔓撤去及び剪定を行いました。終了後の写真です。道路脇の草や経路を草刈り機で整備清掃行いました。セブンイレブン記念財団さまにご助成いただいた道具類が大活躍し、少人数でも効率的に作業が進んでいます。

一方、第３日曜日の9/18は台風14号が九州に上陸の影響で、午前中雨が降

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

り作業を中止し、今後の作業予定等の打合せを行いました。

小林　照夫（本会、理事）

【定例活動報告】知足の森

知足の森の活動は、お寺の檀家さんの森を継続的に整備しています。お寺のすぐ上、というイメージでしたが、間伐が進みかなり斜面上部まで上がって、の作業になっています。これまですぐついて、木を切ってもすぐ運び出せたところから、現場に着くだけで、まずは一休憩、といった本格的な山仕事の雰囲気がある区画です。さらに井の頭自然文化園との共同でこのあと報告します、リス園での活用が決まり、製材乾燥して板にするほどでもない丸太の有効活用が始まりました。参加した中学生の感想を紹介します。

今日の活動は井の頭公園にあるリス園で使用するための木を伐採することだった。直径15㎝ほどの木を1.5mの間隔で切り出し運び出すという作業を午前と午後にそれぞれ一本ずつ行った。最初はそんなに時間がかかるのかな？と思っていたけれどやってみると木を倒す、枝をはらう、分割する、運ぶという作業は一通りやるだけで汗だくになったしクタクタになってしまった。

また、いつも作業しているところより高所で行ったため斜面が急で滑りやすかったり木を運ぶのに苦労したりといつにも増して大変ではあったがやはり、木が倒れる瞬間の音や迫力、苦労して倒せた時の達成感はやっていてとても気持ちよかった。あえてチェンソーを使わずにノコギリで木や枝を切るのは大変な分、自分たちの力でできた気がして楽しい。豊かな森をつくることが他のことにも役立つことはとても嬉しいし、もっと頑張ろうと思うことができた。リスたちが気に入ってくれたら嬉しい。

GREEN TECH ENGINEER LAB 中学１年生女子

間伐した丸太は森に置いておくと虫が入ってしまい、その虫を動物園に持ち込んでしまうかもしれないという打ち合わせから、間伐即、林外に、出来る限り早いタイミングで、動物園に、ということそのあとすぐ搬入し、リス園に設置されています。置いた瞬間からリス達は興味を持ち始め皮を削り始めていました。巣材に使うようとのことです。

桜井尚武の森のコラム

「アラカシ（*Quercus glauca*）」

図1 アラカシ種子

20211023青梅丘陵雷電山

図2 アラカシの葉

20220925青梅丘陵雷電山

図3 下生えとして生えてきたアラカシ

20211204青梅丘陵三室山

図4 アラカシ樹皮

20221009汐入公園南千住

ブナ科コナラ属の常緑高木、樹高15m直径60cm程になります。雌雄同株で受粉した年の秋、10月頃に堅果が熟します。堅果はドングリでこの樹種が属するアカガシ亜属（*Cychrobalanopsis*）の特徴である殻斗の表面の鱗片が癒合して同心円状に殻斗を取り巻く形状を呈します（図1）。宮城県以南の山地帯に普通で切株からの萌芽力が旺盛で株立ちになったものがよく目につきます。葉は互生し15cm位になる倒卵形で上半部に粗い鋸歯が目立ちます。葉の裏面は粉白色を呈する場合がありますが薄緑の場合も多く様々です（図2）。スギやヒノキの人工林の下ばえとしてよく見られ、前生林がこの種を含む常緑広葉樹林であったこと窺わせます（図3）。樹皮は黒味を帯びた灰褐色で若いうちは平滑ですが大きくなると縦方向に浅く割目が入ってきますがそれ程目立ちません（図4）。比較的乾燥に強く尾根筋や岩石地にもよく生育します。

関西以西でカシと言えばこのアラカシを指すといいます。ちなみに関東地方でカシと言えばシラカシ（*Q. myrsinaefolia*）を想定し、四国地方ではアカガシ（*Q. acuta*）を想定する事が多い傾向があるといいます。これは普段よく見る庭園樹や公園樹、並木などや薪炭林等に使われた頻度によるものなのでしょう。

材は硬く緻密なので他のカシ類同様道具類の柄や家具、薪炭などに供されます。

名前の漢字は粗樫で、鋸歯が大きい事、枝の出方が粗雑である事、樹形が整いにくい事によるなど諸説あるようです。

桜井　尚武（本会、会員）

【GREEN TECH ENGINEER LABの活動から】

第３日曜日は森の活動ではなく、狛江市の「こまエコ祭り」の一つ、「間伐材の積み木でアート体験」という企画を運営しました。

午前は、環境について学んでいる小学生たちが積み木で色々な物を作るのを手伝ったり、一緒に作ったりしました。午後は30組近くの親子さんたちが参加してくれました。それぞれの親子さんたちが一生懸命積み木を使ってお城やタワーを作っていました。作った後、写真撮影をし、流れ解散となりました。片付

けをしてから、せっかくだからと、他のこまエコまつりの展示の見学にも参加させていただきました。デジタル地球儀や災害をVR体験できる環境省のコンテンツなど、どれも面白かったです。

最後に11月のソフィア祭の打ち合わせをした後、解散となりました。私たちはいつも積み木を作って、展示する側なので今日のように見守る側は初めてでした。自分で作るのも楽しいけど、こうやって見守ってあげる形で関わる機会もあって良いなと思いました。

GREEN TECH ENGINEER LAB
中学２年生女子

本会の活動とは直接関連しませんが、狛江市の小学生環境サミットという活動を副理事長の宮村で支援しており、本会の森にも参加したことがある森林インストラクターの白濱さんと運営しています。

狛江市の環境調査（緑地の葉っぱ探しとスタンプづくり、水質調査）、それを踏まえた上での、小菅村で間伐体験や源流の水質調査度を行っています。さらに、小学生が間伐したその材で木工体験も行っています。GTEラボの生徒が考えた一輪挿しを作り各小学校においています。11月には発表会も予定しています。

宮村　連理（本会、副理事長）

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan